

令和元年2月定例会 県土整備委員会

令和2年2月18日（火）

〔委員会の概要 県土整備部関係〕

岡委員長

ただいまから、県土整備委員会を開会いたします。（16時07分）

直ちに、議事に入ります。

これより、県土整備部関係の調査を行います。

この際、追加提出予定議案について、理事者側から説明を願うとともに、報告事項があればこれを受けることにいたします。

【追加提出予定議案】（説明資料（その3））

- 議案第69号 令和元年度徳島県一般会計補正予算（第5号）

【報告事項】

なし

北川県土整備部長

今議会に追加提出を予定しております、令和元年度2月補正予算の先議分に係る案件につきまして、お手元の県土整備委員会説明資料（その3）に基づきまして、御説明を申し上げます。

まず、追加提案に至りました経緯でございますが、県土整備部におきましては、国の新たな総合経済対策に呼応し、積極的な公共事業補正予算の獲得、配分要望に努めていたところ、道路事業において、既決予算額を大幅に上回る内示があったところでございます。このため、明日、2月19日に、追加提案を予定させていただいております。

それでは、説明資料1ページをお開きください。

一般会計の歳入歳出予算総括表でございます。

表の下から3段目の計の欄を横に御覧ください。

左から3列目の補正額欄に記載しておりますとおり、県土整備部合計で49億8,238万2,000円の増額をお願いしております。

その右隣の計欄には、補正後の額を記載してございますが896億3,346万4,000円となっております。なお、財源内訳につきましては、右の括弧欄に記載のとおりでございます。

次に2ページをお開きください。

特別会計でございますが、今回、特別会計の補正はございません。

続く3ページから4ページにかけては、補正予算に係る、各課別の主要事項説明についてでございます。

まず、3ページを御覧ください。

高規格道路課でございます。

四国横断自動車道につながるアクセス道路の整備及び国直轄事業の負担金に要する経費など合計7,925万円の増額をお願いしております。

4ページをお開きください。

道路整備課でございます。

県土強<sup>じん</sup>靱化の加速に資する緊急輸送道路や生命線道路などの整備をはじめ、道路施設の長寿命化、落石対策及び橋梁耐震化に要する経費など49億313万2,000円の増額をお願いしております。

続きまして、5ページを御覧ください。

このページから6ページまでは、一般会計の変更分といたしまして、今回の追加補正予算に係る、翌年度繰越予定額の変更を記載してございます。

変更分を反映した補正後の合計は、6ページの最下段、右から2列目の欄に記載のとおり132億1,661万3,000円となっております。

これらの事業につきましては、できる限り早期執行に努め、今後とも、県土強<sup>じん</sup>靱化を強力に推進してまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

以上で、今議会に追加提出を予定しております案件の説明を終わらせていただきます。

なお、報告事項はございません。

御審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

#### 岡委員長

以上で、説明は終わりました。

これより質疑に入りますが、質疑に入るに先立ち、委員各位に申し上げます。

本日は、議案第69号に限った質疑とさせていただきたいと思っておりますので、円滑な議事運営について、委員各位の御協力をお願い申し上げます。

また、先ほど開会された議会運営委員会において、議案第69号については、本日の委員会において、十分審査し、議案提出予定の明日、2月19日には、委員会付託を省略して議決することと決定いたしておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、質疑をどうぞ。

#### 須見委員

今回の開会日に補正予算案を先議したところでありますが、さらに、補正予算を追加提案する理由を説明していただきたいと思います。

#### 川口道路整備課長

2月補正予算先議分を追加提出した理由ということで御質問を頂きました。

国費を充当いたします、一般公共事業の県予算につきましては、国の方針に基づき施策に合致する事業に必要額を積み上げ、近年の配分状況を勘案した上で計上しているというところでございます。

今回の補正予算におきましても、計上額がしっかり確保できるよう、県議会の皆様の御理解、御協力の下、本県の政策提言を通じまして、国に対して国土強<sup>じん</sup>靱化は未来への投資との考えを強く訴え、積極的な予算の獲得、配分要望に努めてまいりました。

こうした中、国土交通省関係の令和元年度補正予算につきましては、安心と成長の未来を開く総合経済対策におけます、災害からの復旧・復興と安全・安心の確保、経済の下振

れリスクを乗り越えようとする者への重点支援，未来への投資と東京オリンピック・パラリンピック後も見据えた経済活力の維持・向上の三つの柱の実施に必要な経費が計上され，去る1月30日に可決成立し，本県への内示があったものでございます。

その後，速やかに内示額を精査した結果，県の道路事業におきまして，国土交通省道路局の補正予算対象施策であります，防災上重要な路線の老朽化対策をはじめとする未来への投資となる本県の要望内容が，国の重点施策と合致いたしまして，既決予算額を大幅に上回る重点配分を受けたことから，2月補正予算の先議分に追加計上させていただくということになったものでございます。

#### 須見委員

補正予算でどのような事業が実施されるのか，またどのような場所で使われるのか，御説明を願いたいと思います。

#### 川口道路整備課長

どのような実施をするのかという御質問を頂きました。

この度の2月先議，追加予算の主な事業といたしましては，県土強<sup>じん</sup>靱化の加速に資する緊急輸送道路や生命線道路の整備，橋梁<sup>りょう</sup>をはじめとする道路施設の長寿命化対策，防災・減災対策として落石対策や橋梁耐震化<sup>りょう</sup>など合計49億313万2,000円を道路整備費として計上させていただいております。

このうち，緊急輸送道路や生命線道路の整備につきましては，国道438号上八万バイパスをはじめとする11路線。

道路施設の長寿命化対策といたしましては，亀浦港櫛木線堀越橋をはじめ66橋，また，国道318号鶴の田尾トンネルをはじめとする24トンネル。

防災・減災に資する落石対策といたしまして，国道195号日浦工区をはじめとする8か所を計上してございます。

また，高規格道路関連といたしましては，ICアクセス道路の整備といたしまして，立江櫛淵インターチェンジの整備事業に資する費用，また，国直轄事業負担金につきましては，国道55号穴喰温泉及び国道192号貞光ゆうゆう館の防災トイレや防災貯水タンク等の整備に資する費用として計上させていただいております。

この度の2月先議予算を活用いたしまして，県民の皆様の安全・安心に資する道路整備，道路ストックの長寿命化や事前の防災・減災対策を更に加速度的に推進してまいりたいと考えてございます。

#### 須見委員

今回，補正予算の獲得に向けて政策提言等を通じて積極的に予算要望をしてきたという理事者の皆様の県土強<sup>じん</sup>靱化に対する思いのたまものではないかと思っております。

早期に執行できるように，しっかり頑張ってくださいと思います。よろしく願いします。

#### 岡委員長

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と言う者あり）

それでは、これをもって質疑を終わります。

以上で、県土整備部関係の調査を終わります。

これをもって、県土整備委員会を閉会いたします。（16時15分）